

22. 表在性血管病変における直接穿刺シンチグラフィ …………… 井上 優介他 …1051
23. ^{99m}Tc -MIBI 心拍同期心筋シンチグラフィを用いた
拡張機能評価に関する検討 …………… 鳥羽 正浩他 …1052
24. ^{67}Ga シンチグラフィが有用であった心サルコイドーシスの一例 …………… 八木 秀憲他 …1052
25. ^{123}I -BMIPP 心筋シンチグラフィで逆拡散を認めた DCM の一例 …………… 吉田 勢津他 …1052
26. 心筋 viability の評価に ^{99m}Tc -tetrofosmin シンチグラフィが
有用であった一例 …………… 丸野 広大他 …1052
27. TI 心筋シンチグラフィが CABG 適応の診断に有用であった 1 例 …………… 細井 宏益他 …1053
28. ^{99m}Tc -tetrofosmin による心機能解析 MAP の研究 …………… 清水 裕次他 …1053
29. STEP (Simultaneous Transmission Emission Protocol) の臨床的有用性
— ^{201}Tl 心筋 SPECT の従来法との比較検討— …………… 行広 雅士他 …1053

一 般 演 題

1. ^{111}In -DTPA 脳槽シンチグラフィが有用であった 低髄液圧症候群の 1 症例

尾崎 裕 長谷川 弘 京極 伸介
住 幸治 片山 仁

(順天堂大浦安病院・放)

症例は 32 歳の女性で起立時の増強する頭痛がみられるため、近医受診。諸治療受けるも改善せず、当院神経内科に入院となった。外傷や手術、腰椎穿刺といった既往はなかった。頭部 CT と MRI では両側性等吸収度性硬膜下血腫と脳底部の脳槽の狭小化が認められた。腰椎穿刺にて初圧 0 mmH₂O と著明な低髄液圧を認めたため本症が疑われ ^{111}In -DTPA を用いた、脊髓腔・脳槽シンチグラフィが施行された。下部頸椎と腰椎レベルに陣笠様の RI の漏出像が認められ、24 時間後像では脳表クモ膜下腔への集積は、著明に低下していた。Myelo CT では神経の走行に一致した多源性の漏出像が認められたが、形態上の異常所見は認められなかった。漏出による特発性低髄液圧症候群の診断のもと、低張液の静脈内投与を開始し、髄液圧の上昇と症状の改善を認め、退院となった。

^{111}In -DTPA 脳槽シンチグラフィは本症例の病態を知る上で非常に有用であったので文献的考察を加え報告した。

2. 核医学検査が有用であった頭蓋内原発 melanocytoma の 1 症例

藤井 博史 奥山 康男 栗原 徹
(川崎市立川崎病院・放)
久保 敦司 (慶應大・放)

症例は球麻痺を示し、来院した 64 歳女性。MRI で延髄部に腫瘍が確認された。T1 強調画像で高信号を、T2 強調画像で低信号をしめした。信号は黒色腫で矛盾しなかったが、出血性変化を伴った他の腫瘍等も否定できなかった。 ^{123}I -IMP 脳 SPECT の後期像で延髄部に強い集積を認めた。黒色腫に特徴的な所見であり、本検査は腫瘍の質的診断に貢献した。その後施行した Ga 頭部 SPECT でも強い集積を示し、頭蓋外黒色腫と同様の所見であった。TI 脳 SPECT も集積を認めたが、Ga SPECT より集積は軽度であった。延髄部以外の全身に病巣はなく、頭蓋内原発と考えられた。開頭手術により、減圧したが、病理診断は、きわめて希な悪性所見に乏しい melanocytoma であった。

3. 記憶障害を呈したてんかん患者の脳血流 SPECT

松田 博史
(国立精神・神経センター武蔵病院・放診部)
49 歳男性の側頭葉てんかん患者の治療経過中に記